

活動報告（8月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：ドローンを活用した水稲追肥実証試験が行われました

日時：令和4年8月11日（木・祝）

場所：静岡県浜松市



コロン（窒素液肥）をドローンに搭載する職員

8月11日（木・祝）、静岡県稲作研究会はドローンを用いた効率的な水稲の施肥・防除一環体系の実証試験を浜松市南区中田島町で実施しました。

試験は慣行から減肥した水田を設定し、生育途中にドローンを用いた追肥によって収量性及び品質の回復・向上を目的としています。

今回予定していた中肥および7月下旬の追肥は生育が旺盛なため中止し、穂肥として、コロン（窒素液肥）およびセラコートスカイを散布しました。

コロン（窒素液肥）は希釈倍率が2倍で薬害が軽減されるものの、散布量が多く（14aに24リットル、一回の散布は8リットルなので3回追肥した）、省力化に課題が残りました。

セラコートRスカイ44は、1回の施用で必要量を散布しました。

西部農林事務所は、これからも水稲用ドローンの活用を支援していきます。